



沖縄三線文化継承プロジェクト レクチャーコンサート

しまの音

— 研究と演奏でひもとく、三線の未来 —



新垣 俊道
(琉球古典音楽)



親川 遥
(琉球古典音楽)



仲宗根 創
(沖縄民謡)



前田 博美
(沖永良部民謡)



豊里 美保
(八重山古典民謡・古謡)



小渡 大海
(八重山古典民謡・古謡)



山里 静香
(舞踊)

2026年3月28日(土)

13:30 開場 / 14:00 開演 (16:30 終演予定)

[会場] ヤマハホール

東京都中央区銀座 7-9-14 (ヤマハ銀座店)

[チケット] 2026/1/26(月) 前売開始

チケット料金 : 5,000 円 (全席指定)

チケット取扱い: チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/shimanuutu26/> [Pコード: 318-509]



【プログラム】

沖縄三線文化継承プロジェクトで進めてきた共同研究の紹介と、次世代を担う実演家たちの演奏に専門家の解説を交えたレクチャーコンサートを開催します。三線をとりまく文化や音色の多様さを、研究と演奏の両面から体感いただき、ともに未来に思いをめぐらせる場としたいと考えています。

第一部：講演

プロジェクトがはじまった背景、伝統継承への課題意識、それぞれの役割、これまでの共同研究の取り組みについてご紹介いたします。

第二部：専門家による解説と実演

音色や曲調、用いられる三線の違いなどに着目しながら、地域を代表する曲目をお聞きいただきます。

● 琉球古典音楽

舞踊「稲まづん節」・独唱「赤田風節」・独唱「仲風（二揚）」

● 沖縄民謡

「廃藩ぬ武士」・「懐かしき故郷」・「ひやみかち節」ほか

● 沖永良部民謡

「子守唄」・「いちきや節」・「サイサイ節」・「永良部百合の花」

● 八重山古典民謡・古謡

「赤馬節」・舞踊「まふえーらつい節・とーすい」・「とぅばら一ま」

※ 本コンサートの内容等は、都合により変更する可能性があります。

【登壇者】



仲嶺 幹（沖縄県三線製作事業協同組合）

沖縄県三線製作事業協同組合 事務局長 /
仲嶺三味線店（幹）店主



遠藤 美奈（沖縄県立芸術大学）

沖縄県立芸術大学 音楽学部音楽学科
音楽文化専攻 沖縄文化コース 准教授



山田 典子（琉球大学）

琉球大学 研究共創機構 地域連携推進室
特命准教授



森 隆志（ヤマハ株式会社）

ヤマハ株式会社 先進技術開発部 副部長



稲岡 紋子（ヤマハ株式会社）

ヤマハ株式会社 先進技術開発部
新価値グループ 感性研究担当

【沖縄三線文化継承プロジェクトとは】

沖縄県三線製作事業協同組合、琉球大学、沖縄県立芸術大学、沖縄県立博物館・美術館、ヤマハ株式会社が参画する「沖縄三線文化継承プロジェクト」。各分野の専門家が集結し、三線の材料や職人の技術、音色や表現語などを科学的に研究することで、材料枯渇や後継者不足といった、三線とそれをとりまく文化にまつわる「社会課題の解決」を目指しています。



沖縄三線文化継承への技術貢献

www.yamaha.com/ja/tech-design/research/reports/25_sanshin/

（ヤマハ研究開発 WEB サイト・レポート記事）



【出演者】

新垣 俊道（琉球古典音楽）

沖縄県立芸術大学大学院修士課程修了。国立劇場おきなわ第一期組踊研修修了。国内外の公演に数多く出演。2024 年、沖縄タイムス芸術選賞大賞受賞。現在、沖縄県立芸術大学准教授。琉球古典音楽野村流保存会師範（三線・笛・胡弓）

親川 遥（琉球古典音楽）

沖縄県今帰仁村出身。沖縄県立芸術大学大学院修士課程修了。沖縄県内外での定期公演を精力的に開催し、琉球古典音楽を次世代へ受け継ぐことを目標に活動を行っている。2024 年、CD「綾もどろ〜月の若清ら〜」を発表。

仲宗根 創（沖縄民謡）

1988 年、那覇市生まれ。金城秀之氏・松田弘一氏・登川誠仁氏に師事し民謡を学ぶ。2000 年に CD デビュー。これまで 4 枚のアルバムを発表。現在、RBCi ラジオ「民謡で今日拝なびら」にてレギュラー出演中。

前田 博美（沖永良部民謡）

鹿児島県沖永良部島出身。沖縄県立芸術大学大学院修士課程修了。師匠である祖母・前田綾子の影響でシマウタを歌い始める。幼い頃より島内外数多くのイベントに参加。2022 年には初アルバム『綾なるシマウタ』を発売。

豊里 美保（八重山古典民謡・古謡）

沖縄県石垣島出身。沖縄県立芸術大学大学院修士課程修了。幼少期より八重山古典民謡を習いはじめ、その後、沖縄県立芸術大学に進学。現在、琉球古典音楽と八重山古典民謡の演奏家として国内外で活動を展開している。

小渡 大海（八重山古典民謡・古謡）

沖縄県八重瀬町出身。幼少期を過ごした石垣島白保村で八重山古典民謡を始める。横目博二・貞子両氏に師事し、現在は八重山古典民謡保存会本部教師。令和 7 年度「石垣市とぅばら一ま大会」最優秀賞受賞。

山里 静香（舞踊）

沖縄県立芸術大学大学院後期博士課程修了。芸術学博士（八重山舞踊・琉球舞踊研究）。八重山伝統舞踊を山里恵子、琉球舞踊を比嘉いずみに師事。八重山伝統舞踊勤王流恵の会師範、琉球舞踊親泊流輝てい會教師、沖縄県立芸術大学非常勤講師。

【タイトル】

タイトル「しまの音（しまのね／しまぬとう）」には、島国・琉球が琉球王国として他国との交流の中で精練・体系化されてきた音（古典音楽）、大衆（シマ＝共同体）の中で愛好されてきた音（民謡）、そして各島において地域固有の文化と共に継がれてきた音（八重山・沖永良部）という、三線を通して見える沖縄文化の多様性を示す、複数の意味が込められています。

主催：ヤマハ株式会社 後援：沖縄県三線製作事業協同組合・沖縄県立芸術大学・琉球大学



ヤマハ お問い合わせ先
inquiry.yamaha.com/contact/?act=56&lcl=ja_JP



会場 ヤマハホール WEB サイト
retailing.jp.yamaha.com/shop/ginza/hall